

### 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	27	個別の記録	日々の支援経過の徹底、観察記録の徹底により、家族への報告が曖昧とならない。不安とならず安心して預けて下さる事が出来る。	煩雑な記録、重複記録を簡略化、支援経過の重点、統一した記録、書式の検討、実践に取り組んでいる。	1ヶ月
2	36	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	レベルの低下していられる人へのケア時の何気ない言葉。人格を傷つけない、常に自分に置き換えて、嫌な思いをさせない。謙虚に向かい合って、自己研鑽に努める。	学習会の実施。研修参加した人はすぐ報告を兼ね(自分への振り返り)学習会の開催へつなげる。	12ヶ月
3	6	身体拘束をしないケアの実践。	あらたに拘束の状況を作らない。拘束ゼロの継続。	対象になられる方への関わり方。常に、見守り、観察を行う。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。